

IT アーキテクトコミュニティは自主運営の活動であり、年度毎に活動方針を決めて活動している。第 1 回は、幹事（今村大輔 東芝デジタルソリューションズ（株））を中心として、令和 2 年度の活動方針を決定した。本年度は、コロナ禍での活動であることから、全て Zoom によるリモート開催とする。

## 1. 本年度の活動方針

(1) 本年度は、「withCOVID」、「DX 関連」をテーマとしてコミュニティ活動を実施する。

(2) 活動は、本コミュニティの活動に加え、3 つの分科会活動を実施する。

- ① 本体の活動 : 「withCOVID」、「DX 関連」をテーマとして情報共有を図る
- ② 分科会活動
  - サーベイ分科会
    - JISA 会員を対象に本年度のテーマに沿ったアンケート調査を実施
  - 若手アーキテクト育成分科会
    - 若手の IT アーキテクトの育成を目的として「IT アーキテクト育成寺子屋」を開催
  - 情報発信分科会
    - 本コミュニティの活動内容を情報発信することで、認知度向上を図る

## 2. 活動予定

(1) 本体の活動

- ① WithCOVID、DX 関連をテーマとして、コミュニティメンバーから討議テーマを募り、現在直面している課題に対して対応案を討議する。
- ② 討議テーマは全 6 テーマを想定しており、各テーマを 2 回に分けて実施する。提示されたテーマに対して課題の整理を行い、課題に対して対応策を検討する。
- ③ 討議は Zoom のブレイクアウトセッションを利用し、メンバーを 3 チームに分けて実施する。本年度は、グラフィックレコーディングを試行的に導入する。
- ④ グラフィックレコーディング専門担当は、参加メンバーの企業から特別参加とする。現段階では、東芝デジタルソリューション(株)、さくら情報システム(株)から参加を予定している。

(2) 分科会活動

- ① 分科会はコミュニティメンバーの希望する分科会への参加を前提としてメンバー構成を決定した。
- ② 各分科会のリーダーとサブリーダーを決定し、分科会で個別運営とする。
- ③ 各分科会の活動情報は、JISA の広報媒体を利用して、本コミュニティにて開示を予定している。